2024年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる方向で記入して下さい。

・ A　B　C　D の4段階評価です。

A　：　たいへんよい
B　：　よい
C　：　一部検討を要する
D　：　改善を要する

保育所・こども園名 【福井認定こども園】

自己評価の観点	前年度の評価	本年度の評価
1．　園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
①　会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている	A	A
②　園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している	A	A
評価の根拠　毎月の職員会議の際に保育理念や方針等を唱和することに加え、今年度からは全国保育士会倫理綱領も唱和し（隔月交代）、自らの人間性と専門性の向上や、子ども達を一人の人間として尊重できるようにするなど、更なる保育士としての意識向上を図っている。		
2．　保育について		
①　一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	A	A
②　年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	A	A
③　評価、資料（諸記録）を集積している	A	A
④　日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	A	A
⑤　園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	A	A
⑥　気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A	A
⑦　季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	A	A
⑧　子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができている	A	A
⑨　それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	A	A
⑩　保育についての話し合いをよくしている	A	A
⑪　保育士自身が楽しんで保育をしている	A	A
⑫　それぞれの役割を把握し、適切な動きができている	B	A
評価の根拠　一人ひとりの子ども達にとっての最善を考え、保育士間でも情報を共有しながら、保育を行っている。		
3．　健康管理について		
①　日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A	A
②　玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	A	A
③　乳幼児突然死症候群（ＳＩＤＳ）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A	A
評価の根拠　園児の体調面については情報を把握、職員間で共有し、細やかに配慮している。		
4．　行事について		
①　行事の種類や実施回数は適切である	A	A
②　行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	A	A
評価の根拠　行事のたびに振り返りを行い、また、保護者からの意見なども検討しながら次の計画に活かしている。		
5．　食育について		
①　食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	B	B
②　旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A	A
③　調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	B	B
評価の根拠　畑活動、味噌づくりなど、家庭ではできないことを経験しながら、食への意識が高まる工夫をしている。		
6．　運営について		
①　園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	A	A
②　各種会議を適切かつ効率的に進めている	A	A
③　打合せ回数、時間、内容は適切である	B	B
評価の根拠　クラス間で保育を見合う「みあいっこ保育」を、今年度は定期的（月１回）に取り入れ、実際に保育を観察し保育について語り合う時間を確保した。少人数での話し合いの場で、経験の浅い保育士も自分の意見を伝えることが出来た。		

自己評価の観点	前年度の評価	本年度の評価
７．　保健・安全指導について		
①　年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	A	A
②　避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	A	A
③　事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	A	A
④　廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	A	A
⑤　室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている	A	A
評価の根拠　マニュアルは定期的に見直しを行いながら、最新の情報に更新している。		
８．　研修について		
①　部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	A	A
②　研修報告を園内で実施している	A	A
評価の根拠　市町アドバイザー、園内リーダーなど行政の研修、他園での公開保育、園内での保育を見合う「みあいっこ保育」などを積極的に取り入れ、研修参加後は情報を共有している。		
９．　情報について		
①　園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A	A
②　園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A	A
③　各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	A	A
評価の根拠　守秘義務については、毎年年度初めに園長の方から職員全員に対し、きちんと周知されている。		
１０．設備について		
①　施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	A	A
②　掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	A	A
評価の根拠　職員への危機管理への意識が高く、危険箇所や落とし物などがあるときちんと園長、主任への報告があるなど、ヒヤリハットとして取り上げ情報を共有している。		
１１．保護者支援について		
①　子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	A	A
②　クラス懇談や個別懇談を行っている	A	A
③　入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	A	A
④　保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	A	A
評価の根拠　普段のことについてはコドモンにて連絡し合い、場合により、直接口頭でお話ししたり、時間を設定して懇談したりなど保護者とは丁寧なコミュニケーションを心掛けている。１日保育士体験でお子さんの様子を実際にみていただき、個人懇談では園と家庭の情報共有を図っている。		
１２．開かれた保育所づくりについて		
①　園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している	A	A
②　職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	A	A
③　医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	A	A
④　中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している	A	A
⑤　来客や地域の方に明るく挨拶をしている	A	A
評価の根拠　毎月未就児親子を対象にした子育て支援事業「わかばっこあつまれ」を開催している。定期的に参加される親子がそのまま入園に繋がる場合、親子ともに関係性ができた中での入園となることで、保護者の不安も和らぐようである。		
１３．情報発信について		
①　えんだより、すこやかねっと等で、情報発信に努めている	A	A
②　行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している	A	A
評価の根拠　行政への情報提供や、ブログ、園前掲示板への掲示などで、随時、子育て支援の情報発信を行っている。		
１４．人権擁護について		
①　園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉がけや関わりをしている	A	A
②　園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている	A	A
③　園児や保護者のプライバシーに配慮し、適切な対応や関わりをしている		A
評価の根拠　一人ひとりの園児の思いを受けながら、適切な言葉遣いや関わりを大切に保育を行っている。		
１５．総括		
年間をとおしての振り返りと、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後力を入れて取り組みたい事柄や課題等をお書きください。		
・自己評価をとおして、前年度よりも改善・充実した点		
行事等の役割分担については、早めに情報を共有、準備できるようにしたことで、スムーズに段取りができ業務が進められるようになった。		
・課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点		
食育の部分で特に低年齢児の取り組みがあまりされていなかったため簡単なクッキング活動などから取り入れていく。調理担当者による食事指導は行っているが、なかなか給食をともに食べることができなくなっていたので、少しずつ実践していきたい。		